

○平成 29 年度教育事業

「子どもたちのワンダーランド春編」(H30.3.17(土)～4.2(月))

子どもたちのワンダーランド 春編

ともだちとの思い出を
たくさんつくろう

春休み!

なかよしグループで泊まって遊ぶ!

●イグルー作り体験 ●そり遊び・バナナボート
●クラフト体験 ●雪上ハイキング ●将棋対決
●ドローン操縦体験 ●ロボット操縦体験 他

※下記期間内、宿泊希望日(1泊2日以上)を決めてお申込みください。
●平成30年3月17日(土)～4月1日(日)

小学6年生の卒業旅行にもどうぞ!

春休み期間を利用して、国立大雪青少年交流の家に子どもだけで宿泊し、楽しく遊んでみませんか? 「子どもだけ」の宿泊であっても、施設の職員やボランティアが生活面や活動をサポートします。プログラム内容は裏面をみてね。ぜひ、お友達を誘って一緒に楽しみましょう!

独立行政法人 国立大雪青少年教育振興機構 〒071-0225 北海道 上川郡神楽町白金温泉
TEL:0166-94-3121 FAX:0166-94-3223
e-mail: taicoatsu@shinshitsu.go.jp
National Taitsetsu Youth Friendship Center 振興会 安達・是安・和泉

◆目的

小学生が春休みを利用して、子供達だけで宿泊活動を行い、自分たちで企画した自然体験を始めとする体験活動、集団宿泊活動、他団体との交流を体験することを通して、生活リズムの向上に資するとともに、地域の自然環境、体験活動の楽しさを感じ取り、併せて子供の自主・自立の心を育てる。

◆参加実績

参加 44 グループ 143 名
①学年 小学校 3 年生 : 29 名
4 年生 : 68 名
5 年生 : 17 名
6 年生 : 29 名

②男女別 男 71 名、女 72 名

③地域別 旭川市 : 85 名
士別市 : 6 名
富良野市 : 8 名
上富良野町 : 3 名
中富良野町 : 6 名
南富良野町 : 4 名
東神楽町 : 11 名
東川町 : 7 名
美瑛町 : 9 名
愛別町 : 4 名

◆プログラム

グループ単位で子供たちだけで宿泊し、提示したプログラムから、子供たちが選択したプログラムを実施。提示したプログラムは以下のとおり。

No.	プログラム名	内容紹介
1	雪上ハイキング	スノーシューを使って、もふもふの雪の上をハイキングします。
2	将棋対決	大雪職員の「くにっち(国枝)初段」に将棋で勝負!
3	ギター教室	ギターで音を出して遊んでみましょう!
4	バスケットボール入門	バスケットボールの基本的な動きを体験してみよう!
5	フットサル入門	フットサルのボールに親しもう!
6	ダッチオープン料理体験	ダッチオープン(蒸し焼き用の厚い鍋)を使って料理をします。(要材料費)
7	そり遊び・バナナボート	雪の坂をそりやチューブなどを使って滑って遊びます。グラウンドではバナナボートにも乗れます。

8	イグルー作り	雪のブロックを積んで「イグルー」という家を作ります。
9	アロマキャンドル作り	いいにおいのするアロマキャンドルを作ります。(要材料費)
10	プラ板制作	プラスチックの板を加工して作ります。(要材料費)
11	マイスプーン作り	木の枝を使ってオリジナルのスプーンを作ってみよう！(要材料費)
12	手作りストラップ	糸を手で編んで、ストラップを作ります。(要材料費)

この他、本事業では、外部機関に依頼し、旭川工業高等専門学校によるプログラム「ドローン体験・ロボコン体験」や、富良野自然塾によるプログラム「春の森を探検しよう（森林散策）」を提供した。

<プログラム実施状況・延体験者数>

雪上ハイキング	10 団体・30 名
将棋対決	4 団体・12 名
ギター教室	4 団体・12 名
バスケットボール入門	11 団体・37 名
フットサル入門	6 団体・19 名
ダッチオープン料理体験	9 団体・27 名
そり遊び・バナナボート	30 団体・97 名
イグルー作り	30 団体・94 名
アロマキャンドル作り	13 団体・41 名
プラ板制作	6 団体・16 名
マイスプーン作り	17 団体・55 名
手作りストラップ	6 団体・18 名
ドローン体験・ロボコン体験	7 団体・18 名
春の森を探検しよう	11 団体・38 名

<指導延職員数> ※ボランティア2名を含む
65 名

◆成果

- 遊びを通して、子供たちが他のグループの子供たちと交流し仲良くなることができた。
- 自分たちで考えて行動し、事態の変化にも対応する力が養われた。
- 雪上活動や森林散策を通して、自然に対する興味関心を高めることができた。
- ドローン体験やロボコン体験など、普段できない体験活動を提供することができた。

◆参加者の声

(参加者)

- 楽しかったです。特に友達と活動するところが楽しかったです。
- 同じ部屋の人と仲良くできたから、ちゃんと交流できたと思う。
- 色々な友達ができ、学校では出会えない人がいたりして面白かった。
- ルールがたくさんあるから、1泊しただけでも規則正しい生活に直せると思った。
- その日に泊まっている人みんなで夜の空を見たい。
- 自由時間に担当の職員の人と一緒に遊びたかった。
- 職員のあだ名（キャンプネーム）が面白かった。
- 色々なスポーツや優しい人に出会うことができた。
- 二段ベッドは少し怖かったけど、友達と一緒に楽しく眠れて、しゃべって、すごくいい思い出ができた。
- イグルー作りが意外と大変だった。
- みんなでバナナボートとそりすべりをするときに、でこぼこだと、いつもより何だか楽しかった。
- 自然が多く、すごく楽しいと思った。
- 規則があるから、普段の生活と正反対だけど、規則があつての生活も楽しかった。
- テントウムシやカメムシが多かった。
- 中学生でも参加できるようにしてください。
- 楽しかった。(ドローン体験)

(保護者)

□仲間と協力し、とても満足して帰ってきました。

□2泊3日での参加でしたが、「もっと長く宿泊したかった!」「夏も行きたい」「家族でも行ってみたい」等とても嬉しそうに話してくれました。

□迎えに行くと、いつもなら「ママ、上靴どうするの?」など色々指示待ちの娘が自分のことは自分で何も言わずに行動している姿に、1泊2日ではありますが、少し大人びて成長したように感じました。

□自立心が育つこういう活動はとても良いと思います。これからも、ぜひ続けて行ってほしいです。

□初めて参加しました。家では、「自分のことは自分でする。」が言われなければできなくて、自分からできるようになってほしいと思っています。今回参加していた間だけでも自分のことができていたのなら、とても良かったと思います。

□外での活動が楽しかったらしく、色々と教えてくれました。特に、春の森散歩で学んできた事は、目をキラキラさせて話してくれました。上手くできた事、失敗した事、がまんした事、迷惑をかけてしまった事など、本人なりに色々あったようですが、今後の生活にうまく生かしてもらえたらと思います。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

○旭川高専、富良野自然塾の協力を得て、外部指導による、特色あるプログラムを提供することができた。

○職員の特技を生かしたプログラムを提供することで、指導者も自信をもち、楽しみながら指導を行うことができた。

○参加者には、事前に提供可能なプログラムの一覧を提示し、希望するものを選択してもらった。その後、職員で調整し、同じプログラムを選択した数グループをまとめた。これにより、1人の職員で複数のグループを指導することとし、職員全体の負担を軽減することができ、前回よりも多くの参加者を受け入れることができた。

○夜のプログラムを行わず、自由時間とすることで、参加者・職員共にゆとりができた。

●プログラム調整でグループの数をまとめる際は、上限を適切に決め、より安全に指導ができるようにする。

●ボランティアの参加が2名だったが、今後はもっと数を増やし、より多くの参加者に対応できるようにする。

◆事業運営費	合計	212,270円
講師謝金・旅費	3名	48,640円 (ボランティア経費含む)
消耗品費		0円
通信運搬費		77,640円
印刷費		83,722円
燃料費		2,268円